

紙芝居カフェ 冬のお店開店

子どもの文化研究所・紙芝居資料室は紙芝居カフェをはじめます。
毎回、テーマを決めて、名作紙芝居を楽しみます。

ここ目白は、『赤い鳥』の発祥の地。「ごんぎつね」や「蜘蛛の糸」など、
数々の名作を生み出してきた雑誌『赤い鳥』は今年創刊100年を迎えます。

そこで、『赤い鳥』に掲載された童話や詩から紙芝居になった10作品の中から
6作品をお楽しみいただきます。

また川崎大治展のアンコール上演として、「太郎熊・次郎熊」の三部作も上演いたします。



- ・日時 12月16日(日) 午前の部 11時～ 午後の部 14時～
- ・会場 子どもの文化研究所 (TEL 03-3951-0151)
- ・入場料 各回500円(コーヒー&ミニ紙芝居『どこへいくのかな』をプレゼント)
*子ども(小学生まで)無料

午前の会 11時～12時

午後の会 14時～15時

- ・ハボンスのしゃぼん玉(幼年)
原作・豊島与志雄 脚本・稲庭桂子
画・桜井誠 演じ手・森内直美
(心をつなぐ紙芝居の会)
- ・杜子春
原作・芥川龍之介 脚本・堀尾青史
画・小谷野半二 演じ手・吉松美代子
(ひょうしぎの会)
- ・少年駅伝夫
原作・鈴木三重吉 脚本・角田光夫
画・箕田源二郎 演じ手・水谷章三
(作家・元 太郎座)
- ・くじらのしま
原作・新美南吉 脚本・堀尾青史
画・穂積肇 演じ手・加藤武郎
(実演家・『はらっぱの会』顧問)

- ・つきよとめがね
原作・小川未明 脚本・堀尾青史
画・遠藤てるよ 演じ手・元山三枝子
(紙芝居資料室室長)
- ・ごんぎつね
原作・新美南吉 脚色・清水たみ子
画・長野ヒデ子 演じ手・齋藤靖子
(ひょうしぎの会)
- アンコール上演
- ・太郎熊・次郎(前・中・後編)
脚本・川崎大治 画・宇田川種治
演じ手・前編 小室光(紙芝居サークルさわやか)
・中編『不思議な見世物小屋』
河合勉(ひょうしぎの会)
・後編『熊さんの学校』
高橋清一(ひょうしぎの会)

他にも楽しい企画が目白押し！

紙芝居のオープンセール開催

- ・第1回記念 紙芝居クリスマスオープンセール開催・個人蔵、五山賞ノミネート作品等格安でお分けします。

資料室秘蔵のリストと貸出し用レプリカを大公開！

- ・資料室所蔵の歴史的紙芝居と名作紙芝居のレプリカ200本(貸出可)のリストと作品を公開します。

お問い合わせは、子どもの文化研究所 Info@kodomonobunnka.or.jp

〒171-0031 豊島区目白3-2-9 村松ビル3階(山手線目白駅下車2分)

TEL 03-3951-0151 FAX 03-3951-0152 まで